

令和 5 年度主要事業について

○ 主要事業の取組状況

(令和 5 年度予算事業)

事業名	事業内容
中学校大規模改造事業 (格技場照明改修工事)	水銀に関する水俣条約の発効により水銀灯の製造が中止されること及び脱炭素化を図るため、中学校 2 校の格技場照明の改修工事を実施し、安全・安心な教育環境を維持した。 ・熊野中学校、熊野東中学校格技場照明改修工事 事業費：3,850,000 円 契約等：令和 5 年 11 月 30 日（新生電工 株式会社） 令和 6 年 2 月 28 日 完了

(繰越明許等による事業)

事業名	事業内容
小中学校感染症対応事業	新型コロナウイルス感染症の対策として必要な保健衛生用品等を確保するとともに、効果的な換気対策を講じるための機器等を整備し、学習環境の維持に取り組んだ。 【令和 4 年度繰越事業】 ・保健衛生用品等 … 1,190,189 円 ・冷暖房機器等 … 6,157,008 円 【令和 5 年度事業】 ・換気対策用品等 … 1,052,040 円 ・冷暖房機器等 … 4,613,312 円
中学校大規模改造事業 (熊野中学校西校舎トイレ改修工事)	中学校施設の環境改善を図るため、熊野中学校西校舎トイレの洋式化、内装改修（壁、床、トイレブース等）、付随する機械・電気設備の改修工事を実施した。 事業費：43,237,700 円 契約等：令和 5 年 6 月 8 日（株式会社 上垣組） 令和 5 年 12 月 22 日 完了
町民会館施設管理事業 (町民会館講堂特定天井改修工事)	災害発生時等の避難所としても利用される熊野町民会館講堂の利用者の安全確保を図るため、既存不適格となっている特定天井の改修工事を実施した。 事業費：54,675,500 円 契約等：令和 5 年 3 月 8 日（株式会社 熊野技建） 令和 5 年 8 月 31 日 完了

令和 5 年度基礎学力向上の取組及び生徒指導上の諸課題について

1 基礎学力の向上について

(1) 熊野町「学びの変革」推進協議会の開催

○ 広島県教育委員会と連携し主に次の 4 点について協議を行った。

- ・「本質的な問い」による授業改善について
- ・児童生徒の学びのファシリテートについて
- ・デジタル機器の活用について
- ・カリキュラム・マネジメントの充実について

○ 年間 3 回の推進協議会において理論研修や授業研修を行った。

- ・第 1 回 理論研修「本質的な問い」による授業改善について
- ・第 2 回 授業研修【熊野第一小学校 5 学年 算数科】
- ・第 3 回 実践交流・講話

報告 【熊野第四小学校 小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業】

(2) 広島県研究指定事業の採択

○ 両中学校区で広島県の事業採択をそれぞれ受け、町内 6 校全体で研修に取り組んだ。

- ・熊野中学校区（熊野中学校、熊野第一小学校、熊野第三小学校）

『探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業』

小中連携による生活・総合の単元開発と実践

- ・熊野東中学校区（熊野東中学校、熊野第二小学校、熊野第四小学校）

『道徳教育推進拠点地域事業』

学校や地域の実態に応じた道徳教育の推進

(全国学力・学習状況調査)

		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
		国語	算数 数学	国語	算数 数学	国語	算数 数学
小学校	熊野町	66.0	68.0	69.0	62.0	75.0	66.0
	広島県	66.0	70.0	67.0	64.0	69.0	64.0
	全 国	64.7	70.2	65.6	63.2	67.2	62.5
中学校	熊野町	65.0	57.0	68.0	50.0	70.0	49.0
	広島県	65.0	57.0	69.0	50.0	70.0	49.0
	全 国	64.6	57.2	69.0	51.4	69.8	51.0

令和 5 年度全国学力・学習状況調査において、熊野町立学校の平均正答率は小学校では広島県平均正答率を上回り、中学校では広島県平均正答率と同程度の結果となった。

2 小中学校生徒指導上の諸課題について

(小学校)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
いじめ	1 0	1 3	7
暴力行為	2 0	1 7	1 5
不登校	1 8	1 9	2 4
その他(問題行動)	2 7	1 5	1 8

(中学校)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
いじめ	7	7	4
暴力行為	1 2	1 6	1 5
不登校	3 0	4 5	4 3
その他(問題行動)	5 0	4 8	4 7

令和 6 年度 施政方針（概要版）

はじめに

はじめに、この度の「令和 6 年能登半島地震」により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

本町におきましては、石川県輪島市へ住家被害認定調査のため、職員を派遣したところであります。今後においても、震災からの復旧、復興のための支援を続けてまいります。

さて、最近の社会情勢をみますと、これまでのコロナ禍による地域経済の停滞や、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価高騰の波は、我々の日々の生活を直撃し、加えて中東情勢の緊迫化によって、深刻度は更に増しており、我が国では、デフレ脱却のための総合経済対策に取り組んでいるところであります。

一方で、我々の生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、令和 5 年 5 月に感染症法上の位置づけが 5 類感染症へと移行し、これまでの制限が緩和され、ようやく以前の生活や地域経済の回復への期待感も感じられつつあります。

こうした状況を踏まえ、情勢の変化が激しく予測が困難な時代にこそ、明確なビジョンを持ってリーダーシップを発揮し、施策を推進することが重要です。

豪雨災害や新型コロナウイルス感染症への対応など、町民の皆さんの暮らしの安心・安全を守る施策に重点を置いて取り組んでまいりました。災害復旧事業やコロナ禍が一段落したことにより、これからは熊野町総合計画に基づき、将来に向けた各種施策に積極的かつ着実に取り組んでまいります。

令和 6 年度町政運営の基本方針

物価高騰への対策は、国の動向を注視しながら、スピード感を持って取り組むとともに、次の 2 つの施策を重点的に進めてまいります。

1 つ目は、「子育て世代に選ばれるまちづくりの推進」です。

広島県が 3 年連続で全国最多の転出超過となる中、本町は 3 年連続となる転入超過となりました。

「こども・子育て施策」としての医療費助成の拡充や、「移住・定住施策」としての子育て世代の住宅取得者に対する交付金など、子育て世代に選ばれるまちづくりを進めてまいります。

2 つ目は、「災害に強いまちづくりの推進」です。

引き続き防災・減災対策に取り組み、安心・安全で強靱なまちづくりを進めてまいります。

本町では、「平成 30 年 7 月豪雨」以後、大雨などによる、土砂災害対策を重点的に実施してま

いりましたが、南海トラフ地震など、発生の確率が高まっている地震に対する取り組みも進めていかなければならないと強く感じています。

令和6年度の主要施策と取り組み

令和6年度の主要施策と取り組みを、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【基本目標1 誰もが元気で健やかに暮らせるまち】

子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、支援体制の充実に取り組んでまいります。

子育て支援施策におきましては、令和6年度末に「熊野町子ども・子育て支援事業計画」の改訂時期を迎えることから、今年度実施のニーズ調査の分析結果や子育て世代からのご意見等も踏まえて、子育てしやすい町の実現に向けた次期計画の策定に取り組めます。

福祉医療費公費負担事業における「子ども医療」につきましては、今年度対象者を中学生まで拡大したところでございますが、更なる拡充を目指し、令和6年度中には高校生までの拡大、及び所得制限の撤廃を行うこととして、準備を進めてまいります。

保育所の待機児童対策でございますが、近年、転入世帯の増加などに伴って急激に保育ニーズが高まる中、誰もが安心して子どもを預けられるよう、引き続き保育施設を運営する法人と連携して、受入れ体制の確保に努めるとともに、受入れ枠が無く、やむを得ず認可外保育施設に預けざるを得ない方のために、補助金制度を設けて支援してまいります。

国の少子化対策の一環として、令和6年10月分から、高校生年代までの支給期間延長や所得制限の撤廃など、児童手当制度の拡充が図られることから、システムの改修や住民への制度周知など、所定の準備を進め、適正な支給に努めてまいります。

また、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠から出産・子育てまで身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産・育児用品購入等に対する経済的支援を一体的に引き続き行ってまいります。

【基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち】

この基本目標を実現するため、「学び続ける力の育成」、「思いやりの深化」、「学校・地域等の連携強化」を教育施策の重点目標として取り組んでまいります。

地域とともにある学校を目指す、コミュニティ・スクールの取組を土台として、「ふるさと熊野」に誇りと愛情をもち、誰もが熊野で学んで良かったと思える教育を進めてまいります。

学校教育におきましては、「探究的な学習」と「道徳教育」を両輪とした授業改善に努め、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の充実を図ります。

学校給食では、温かい給食の提供による更なる食育の推進を図るため、令和7年秋を目標として、現在のランチボックス方式の学校給食を、食缶方式へ移行するための準備を進めてまいります。

社会教育におきましては、令和6年4月から運用を開始する予定の「公民館施設予約システム」を活用することで、利便性向上と利用の促進を図り、多世代交流や生涯学習の充実に取り組んでまいります。

【基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち】

移住定住促進策として、子育て世代の定住を促進するため、一定要件の住宅取得者に対し交付金を支給する事業を引き続き実施するとともに、県と連携して移住支援金制度を実施し、東京圏からのUターン人材を呼び込むことで、人口の維持、地域の活性化を図ってまいります。

また、「客観的な視点で取り組み、新たな風を吹き込んでくれる外部からの人材」を求め、地域おこし協力隊制度の活用に取り組めます。

ふるさと納税において、返礼品の拡充等により本町の魅力や地域資源をPRし、関係人口の増加や、リピーターの定着につなげるとともに、町内事業者の販売促進等を支援してまいります。

【基本目標4 安心・安全で快適に暮らせるまち】

防災・減災対策の強化や道路交通網の整備・充実を図るなど、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。地震対策として、「総合防災訓練」や防災意識の向上につながるイベントを実施してまいります。

その他、近年、災害が激甚化・頻発化する中での災害発生予防及び災害拡大防止の取り組みといたしまして、道路、河川、農業用施設等のインフラの強靱化を進めてまいります。

次に、本町の幹線道路である矢野安浦線及び瀬野呉線で進められているバイパス整備事業は、まちの発展と町内の渋滞緩和を図るために必要不可欠な事業であるため、県と連携して早期完成に向けて全力で取り組んでまいります。

町道の新設・改良事業においては、狹隘区間の拡幅などを実施し、道路交通の利便性と、安全性向上に取り組むほか、県道矢野安浦線バイパスと一体的に進める必要がある町道萩原線の新設事業を進め、円滑な道路ネットワークの構築に努めてまいります。

交通輸送対策としましては、公共交通幹線軸となる熊野線、阿戸線のバス路線及び、生活福祉交

通「おでかけ号」の利便性向上を図ってまいります。

次に、下水道事業でございますが、汚水管路の老朽化対策といたしまして、引き続き熊野団地内の老朽管を計画的に更新してまいります。

【基本目標５ 人と自然が調和する美しいまち】

筆の里工房の周辺整備につきましては、令和７年度下半期オープンを目指し、体験交流施設及び調整池の整備に着手いたします。

【基本目標６ 自立と協働 みんなで創る持続可能なまち】

DXの推進につきましては、令和３年３月に策定しました「熊野町dX推進計画」に基づき、計画的・継続的に推進しているところであり、デジタル専門人材の活用や庁内の人材育成に努めるなど、行政の持続可能性を高めるための取組により、住民サービスの向上を目指しているところでございます。国から令和７年度末までに対応することを義務づけられている、基幹業務システムの標準化・共通化に対応すべく、新システムの機能分析や文字の同定、データ移行に向けた作業などを実施してまいります。

新年度の予算規模

これらの施策を中心に予算編成を行なった結果、令和６年度の一般会計の総額は、１０２億１，８００万９千円となり、前年度と比べて６．９％の増となりました。

また、特別会計は３会計の合計で、５７億９，０９５万５千円、企業会計は１会計で、１１億３，２２７万３千円を計上しております。

終わりに

今後も、人口減少や少子高齢化の進行に加え、物価高騰の影響に伴う経済活動の停滞等、引き続き、困難な状況が続くことが予想されますが、将来にわたって持続可能な熊野町の未来を確かなものにしていくために、引き続き、全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位をはじめ、町民の皆様の格別なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、令和６年度の施政方針とさせていただきます。

令和 6 年度予算及び主要事業について

○ 令和 6 年度 予算

教育費 … 947,687 千円 (熊野町一般会計予算の 9.3%、対前年度比+12.9%)

うち教育部予算

費目 (款：教育費)	事業名	予算 (千円)
項) 教育総務費		
目) 教育委員会費	教育委員会活動事業	2,319
目) 事務局費	学校教育一般管理事業	4,605
	学校教育振興事業	18,699
	学校支援事業	78,981
項) 小学校費		
目) 学校管理費	小学校一般管理事業	44,953
	小学校施設維持管理事業	75,048
	小学校大規模改造事業	11,378
目) 教育振興費	小学校教育振興事業	56,825
	小学校低学年書道科指導事業	5,999
項) 中学校費		
目) 学校管理費	中学校一般管理事業	43,489
	中学校施設維持管理事業	64,378
目) 教育振興費	中学校教育振興事業	22,761
項) 学校給食費		
目) 学校給食費	学校給食事業	140,998
項) 社会教育費		
目) 社会教育総務費	社会教育一般事務事業	5,375
	二十歳を祝う会事業	812
	青少年健全育成事業	155
	郷土館管理運営事業	1,520
目) 町民会館費	町民会館施設管理事業	42,471
目) 公民館費	熊野町公民館管理運営事業	6,605
	公民館一般事務事業	3,410
目) 図書館費	図書館運営事業	52,074
目) 防災交流センター費	東防災交流センター管理運営事業	14,240
	西防災交流センター管理運営事業	12,807
項) 保健体育費		
目) 保健体育総務費	社会体育一般事務事業	49,600
目) 体育施設費	社会体育施設管理事業	26,332
		785,834

・その他の「教育費」 文化財保護費 … 1,131 千円 (産業観光課 所管)

人件費 … 160,722 千円 (総務課 所管)

○ 主要事業

(令和6年度 当初予算)

(単位: 千円)

事業名	事業費	事業内容
小学校大規模改造事業 (熊野第三小学校南校舎改築事業)	7,000	「熊野町学校施設長寿命化計画」に基づき、熊野第三小学校南校舎の改築に向けた基本計画及び基本設計を実施する。
小学校大規模改造事業 (熊野第三小学校体育館吊物照明改修事業)	4,290	老朽化が著しい熊野第三小学校体育館吊物照明の改修を行い、児童の安全や学習環境の改善を図るとともに、指定避難所の防災機能を強化する。
町民会館施設管理事業 (町民会館アスファルト舗装改修事業)	20,000	損傷が著しい町民会館敷地内のアスファルト舗装を改修し、施設利用者の安全安心な利用環境を確保する。
社会体育施設管理事業 (町民体育館アリーナ改修事業)	6,400	町民体育館アリーナ床面の老朽化及び競技ルール改正によるライン変更等により、その利用に支障が生じていることから、床面の修繕及び新たなラインの焼付けを実施する。

(重点取組事項)

No.	事項名	取組内容
1	コミュニティ・スクールの推進	学校・地域の連携を一層推進するため、コミュニティ・スクール実践の先進地視察や、学習会・実践交流会等の研修の充実に取り組む。
2	地域・学校協働活動の推進	「広島版学びから始まる地域づくりプロジェクト事業」として、東防災交流センターにおいて防災をテーマとした研修会や避難所運営訓練等を行うとともに、実行委員会による東防災フェスタを開催する。
3	児童生徒の主体的な学びを促す授業改善の推進	「がんくまプロジェクト」として、両中学校区でそれぞれ「探究的な学習」と「道徳教育」を通じた授業研究に取り組むとともに、学びの変革推進協議会において個別最適な学びの充実に向けた取組等を充実させる。
4	学校給食の食缶方式への移行	食缶方式による全員喫食の学校給食を令和7年秋から提供することを目標として、公募型プロポーザルにより業者選定・契約を行うとともに、食缶方式移行準備委員会を組織し、学校における受入れを円滑に行う体制を整備する。
5	熊野第三小学校南校舎改築事業の推進	安心安全な教育環境の確保及び新しい時代に求められる学校施設の整備を図るため、熊野第三小学校南校舎の改築に向けた基本計画及び基本設計を行う。
6	「第4次 子どもの読書活動推進計画」の策定	「第3次 子どもの読書活動推進計画」の進捗状況を把握するとともに、アンケート等を行い、令和7年度を始期とする「第4次 子どもの読書活動推進計画」を策定する。